

赤こんりポート

松村美沙枝リポーター



“作る”以上の経験を “やりたい”をカタチに「こどもきっちゃん」

7月26日、発酵キッチン和ちゃんで「こどもきっちゃん」が開催されました。こどもきっちゃんとは、和ちゃんの店主・細居さんのサポートのもと行われる子どものワンデイシェフ体験。参加された小学3年生の室谷美空さん他子どもシェフさんは、盛り付け・配膳・接客をはじめ、調理やメニュー考案まで担当。「自分が食べたい！」と思った料理を調べたり、家族に教えてもらったりしながら試作もされるそう。この日も千客万来の大盛況。空っぽになったご飯を見て、安堵の表情で片付けまできちんと頑張る子どもたちでした。

赤こんりポート

今井良治リポーター



福祉ボランティア講座で 新しい自分づくりのきっかけを

福祉ボランティア講座「手話で仲間になろう」が7月30日、ひまわり館で開催されました。「身近な福祉を知って感じてそして話し合おう」をテーマに、福祉ボランティアを始めるきっかけづくりと対象者の地域での孤立を防ぐことを目的に、市社会福祉協議会ボランティアセンターが主催。7～8月に実施の4回シリーズの3回目で、中学生や高校生を含む20人余りが受講しました。この日は手話サークル連絡協議会、聴覚障害者福祉協会、しが盲ろう者友の会、要約筆記サークルすいごうの4団体の代表者がそれぞれ活動紹介を行いました。手話で自分の名前を相手に伝えたり、要約筆記や盲ろう者の手のひらに指で文字を書く触手話を実際に体験したりして、受講者は多様な情報伝達の方法を学んでいました。



赤こんりポート

東恵子リポーター



お堂で恒例の落語会

終戦の日の8月15日、赤尾町覚永寺では、恒例の「盆会・落語会」が開かれました。今年は、安曇川町出身の人気落語家・桂三度さんがお堂に集まった人たちに、古典落語など2席を披露しました。

「落語は、お坊さんが村人を集めて仏教の話をした説法が起源という説もあるそうです」と、三度さん。お寺の温かい空気感が好きだと話していました。

落語の間には、住職の孫らによる琉球民謡グループ「慈恩くんとゆかいな仲間たち」が、「島人ぬ宝」や「安里屋ユンタ」などを唄い踊り、厳しい暑さやコロナ禍で沈みがちな気分を笑顔で吹き飛ばしました。

8月14日



懐かしくも新しい 安土の夏祭り 「あづフェス」開催

安土小学校で、あづちサマーフェスティバルが開催され、大勢の学区民らが夏まつりを楽しみました。

ステージでは、安土・老蘇まち協バンドや安土中学校吹奏楽部の演奏、カラオケやあづち信長出陣太鼓の演奏などが行われました。また、ヨーヨー釣りや射的などの子ども縁日や飲食店の露店も多数出店され、多くの子ども連れでにぎわっていました。

夜に行われた〇×クイズでは、参加者があづフェスに関するものなどに頭を悩ませていました。最後には、江州音頭の盆踊りが行われ、会場中央のやぐらの周りを、老若男女が掛け声とともに踊りました。

7月23日



ラジオの生放送に合わせ心地よく体動かす

健康ふれあい公園サッカー場で、NHK 夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会が開催され、約400人が朝の心地よい空気の中で汗を流しました。県内では、2019年度の甲賀市の甲南グラウンドでの開催以来3年ぶり。

参加者は、午前6時ごろから、ラジオ体操指導者の多胡肇さんと拍手やあいさつの練習、準備体操を行い、午前6時30分からの生放送本番に備えました。

生放送では、おなじみのテーマソング「ラジオ体操のうた」が流れた後、「おはようございます」と参加者が大きな声であいさつ。能條貴大さんのピアノ演奏に合わせてラジオ体操第一・第二で心地よく体を動かしました。

7月21日



インターハイ出場の選手らを小西市長が激励

今夏、四国4県と和歌山県で開かれる全国高校総体（インターハイ）をはじめ、各種スポーツの全国大会に出場する市内の高校生や高校のチーム（団体）、中学生、スポーツ少年団を対象に激励会が市文化会館2階展示室で開催されました。

激励会には、14組約60人の選手が参加。小西市長が、選手に激励の言葉を贈ったあと、スポーツ優秀選手の表彰ならびに激励金を授与しました。その後、出席した選手を代表して近江兄弟社高校3年生でハンドボール部主将の居川侑右さんが全国大会での健闘を力強く誓いました。

7月26日



消費生活講座 KIDS 編 「ゲームとの上手な付き合い方セミナー」開催

ゲームとの上手な付き合い方を学ぶオンラインセミナーがひまわり館と金田学童保育所つちのこクラブの2か所で開催され、約20人の子どもたちが参加しました。

ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社の講師からクイズを交え「ゲームをおわるためのワザ」「おかねを使いたくなったときのワザ」などを学んだ子どもたちは、「ゲームを早く終わらせられるよう気を付けようと思いました」「時間を決めてゲームをやろうと思いました」と話していました。

7月24日



ダンスチーム勢ぞろい 近江八幡初の大型ダンスイベント開催

運動公園の野外ステージで「第1回近江八幡ダンスフェスティバル」が開催され県内外から21組約500人のダンスチームが参加しました。

ステージではよさこい部門とフリーダンス部門が交互に演舞し、午後の部で部門ごとに審査が行われました。5分毎に各チームが白熱した演舞を行う一方、会場周辺ではキッチンカーや屋台が並び、観客や参加者らでにぎわっていました。最後は参加していたチームがステージ上に集まり、みんなで思い思いに踊ったり歌ったりしながら晴れやかな笑顔を見せていました。